

令和7年度 第2回高等学校入学者選抜審議会 記録

令和7年11月25日（火）午前9時～午前11時
県庁9階 第一会議室

＜審議会専門委員＞

田端 健人 委員、熊谷 龍一 委員、笠原 由佳 委員、平塚 隆 委員、新妻 英敏 委員、
伊藤 宣子 委員、菊池 晃子 委員、鶴岡 勝彦 委員、樽野 幸義 委員、
勅使瓦 理恵 委員、菅原 紀子 委員、佐竹 潤一 委員
(欠席：坪田 益美 委員、川嶋 輝彦 委員、高橋 千香子 委員、猪股 智秋 委員)

＜事務局＞

遠藤 秀樹 副教育長、菊田 英孝 高校教育課長、
吉田 光輝 高校教育創造室副参事兼総括室長補佐、本田 史郎 義務教育課長
(欠席：佐藤 靖彦 教育長)

○ 開会

事務局	(資料の確認) (公開の確認) (開会)
	(委員の出席状況)
副教育長	(副教育長あいさつ)
事務局	(県教育庁関係出席者紹介)

○ 審議（1）令和9年度宮城県立高等学校入学者選抜方針について

委員長	(委員長 司会進行開始)
	<p>それでは、次第に従って進める。 次第の「2 審議」について、資料1を御覧願う。 7月の第1回入選審の際に諮問があった、「1 令和9年度宮城県立高等学校入学者選抜方針」及び「2 令和9年度宮城県立高等学校入学者選抜日程」について、第1回に引き続き審議し、答申をまとめてまいりたい。 方針については、令和9年度に開校するアイデアルスクールについて、個別の項目を作る必要がある。また、全国募集選抜については、対象を「モデル校」から「実施校」に変更することについて審議したところである。 また、日程については、令和8年度入試では、第2次募集の合格発表から4月までの日程が短いことから、それぞれの立場の方々に負担をかけることが懸念される。 そのような状況を踏まえ、令和9年度入試では、受験生にとって、より負担の少ない選抜日程を検討する必要がある。 限られた時間ではあるが、多角的な観点から慎重な審議をお願いする。</p> <p>それでは、事務局から答申案について説明願う。はじめに、（1）入学者選抜方針について説明願う。</p>
事務局	(事務局より説明)
委員長	<p>事務局からの説明を踏まえ、選抜方針について審議する。諮問案から2点を修正した答申案が示されたが、いかがか。 方針について、事務局の案のとおり答申することよろしいか。</p>
	(異議なし)
委員長	では、令和9年度入学者選抜方針については、事務局案のとおり答申すること

	とする。
--	------

○ 審議（２）令和９年度宮城県立高等学校入学者選抜日程について

委員長	では、次に、（２）入学者選抜日程について審議する。 事務局から、答申案について説明願う。
事務局	（事務局より説明）
委員長	受験生の受験機会の確保や、公平・公正かつ正確な入試事務処理を行うための日数の確保、第二次募集の出願に要する日数、これらに加えて、私学側から、第二次募集の合格発表が遅くならないようにとの要望が出されている。 様々なことを考慮しながら、受験生にとってより負担の少ない選抜日程を審議したい。 それぞれの御立場から、御意見をいただきたい。 まず、中学校の委員から御意見をいただきたい。
菊池委員	中学校の立場を考慮していただいた案２について、大変嬉しい。 第１回の審議会では、２日間でも対応は可能だが、３日間あれば、より子供たちの心のケアができ、進路についてじっくり話す時間があるのではないと思って発言した。案２が大変良い。
鶴岡委員	案２が中学校に配慮いただいた案だと感じており、その部分が非常に嬉しく思う。 第一次募集で不合格だった子に対しての心のケアは、年々難しくなっているとも感じている。３日間あるということについて、非常にありがたく思う。
委員長	御意見に感謝する。 高校側としてはいかがか。
樽野委員	前回発言した、卒業式から学力検査日までの日程が厳しいのではないかという点についても考慮いただいたことについて大変嬉しく思う。 ただ、１つ懸念があるので確認したい。シミュレーションの中で、太枠で示された「第二次募集の実施・合格発表」の下に、「第二次募集合格発表」と記載があるが、第二次募集の実施日の午後に発表できる学校は発表しているが、そうではない場合は、その下の日程で発表するという理解でよろしいか。そうなった時に、案２で言うところの３月１９日でほとんどできるのではないかと思うが、そうではない場合の学校が３日間空くということが気になるところである。二次募集の合格発表が下がれば下がるほど、年度末の人事異動や引き継ぎ等の日程が立て込んでくる。このように懸念されることもあるが、日程としては、案２で大変良いと考えている。
委員長	今の点について、事務局としてはいかが。
事務局	確かに、学校によって、１９日に発表する学校と、２３日に発表する学校がある形になっている。 御指摘のあったような入試以外の要因についても考慮して日程を検討する必要があるものと考えている。
委員長	これまでに、第二次募集実施日当日に合格発表できなかったようなケースはあるのか。
事務局	これまでに、発表ができなかった学校はない。 合格発表日は、募集前に学校ごとに決めることにしており、落ち着いた日程で事務作業を行うために、合格発表を検査日の翌日に設定する学校もある。そのため、令和９年度においても、２３日を合格発表日とする学校は一定数あるものと推測される。今年度の第二次募集の合格発表日は２３日または２４日であることから、案２であっても大きな問題はないと考えるが、引き続き、幅広に確認する。
委員長	承知した。 勅使瓦委員、いかがか。
勅使瓦委員	樽野委員が発言したように、卒業式のあとに１日空けて第一次募集という日程では大変なところはあるかと思うが、様々な要因を総合的に判断し、案２について賛

	成する。
委員長	菅原委員、いかが。
菅原委員	案2に賛成である。 二次募集の合格発表は、23日とすることができるものの、実際に募集をしてみないとわからないところはあるが、第二次募集の出願の人数はそう多くはなく、事務作業も第一次募集と比較すれば1日で収められるのではないかと想定できることから、この案でお願いしたい。
委員長	PTAの立場から、笠原委員はいかがか。
笠原委員	保護者の立場として、中学3年生ということで、不安定な時期でもあることから、家族ともゆっくり進路について話ができる期間が欲しいということで、二次募集まで3日間あれば安心であると思うが、その他の点に関しては、先生方が一番やりやすい方法、子供たちに負担がない方法が良いと思う。
委員長	総合教育センターの佐竹委員いかがか。
佐竹委員	総合教育センターとしても、この日程案でよいと考える。
委員長	新妻委員はいかがか。
新妻委員	私どもの教育委員会としても、高校、それから中学校の立場からしても、この日程でスムーズに行くと思われる。また、今年度から、ウェブでの出願など、様々な処理が始まることから、時間的な部分の短縮について期待しているところもあり、このような日程で行くのがよろしいのではないか。
委員長	同じ教育委員会として、平塚委員はいかがか。
平塚委員	私も第2案に賛成する。 私は中学校の教員なので、この第2案であれば、中学校は割とスムーズに行くのではないかと感じるが、高校側が大変なのではないかと少し思う。卒業式が終わってすぐ2日後に試験があり、バタバタと動いていく必要があることから、その点についてよろしくお願いしたい。
委員長	それぞれの立場から意見をいただいた。このあたりで日程について結論をまとめたい。 ただいまの議論を踏まえ、令和9年度の選抜日程について、諮問のとおりでよろしいか。
	(異議なし)
委員長	では、令和9年度入学者選抜日程は、諮問どおり答申することとする。

○ 答申

委員長	「3 答申」に移る。 事務局、準備をお願いします。
事務局	(答申案の配布)
委員長	では、答申文を確認した後に答申を行う。 1つずつ確認したい。 まず、答申の鑑だが、これでよろしいか。
	(答申文の確認) (異議なし)
委員長	次に、選抜方針について確認願う。 資料1、審議関係資料の7から8ページと、ただいま事務局から配布された答申案を御覧いただきたい。
	(選抜方針の確認)
委員長	選抜方針について、この文言でよろしいか。
	(異議なし)
委員長	それでは次に、選抜日程について確認願う。 審議関係資料4ページの諮問案と、ただいま事務局から配布された答申案を並べて確認願う。

	(選抜日程の確認)
委員長	選抜日程について、こちらでよろしいか。
	(異議なし)
委員長	問題ないようなので、ただ今配布された答申案で答申する。
委員長	(答申鑑に押印)
委員長及び 副教育長	(移動)
委員長	(答申鑑の読み上げ)
	本答申をもとに、令和9年度の高校入試が円滑に実施されることを心より願っております。よろしくお願いいたします。
副教育長	(答申の手交)
	2回に渡り、慎重な御審議をいただき、委員の皆様本当に感謝する。 ただいまいただいた答申については、教育委員会において速やかに決定、公表したいと考えている。ありがとうございました。

○ 報告（１）令和8年度宮城県公立高等学校入学者選抜事務日程について

委員長	次に、「４ 報告」に移る。資料2を御覧いただきたい。 「令和8年度宮城県公立高等学校入学者選抜事務日程について」、事務局から説明願う。
事務局	(事務局より説明)
委員長	以上の説明について、質問はあるか。
	(質問なし)

○ 報告（２）令和8年度宮城県公立高等学校入学者選抜における主な変更点について

委員長	続いて、報告（２）「令和8年度宮城県公立高等学校入学者選抜における主な変更点について」、事務局から報告願う。
事務局	(事務局より説明)
委員長	ただいまの報告について、質問等はあるか。 大きくは3点について説明いただいた。欠席状況欄の削除、ウェブ出願システムの導入、デジタル採点支援システム入試版の導入である。 デジタル採点について、校務版と入試版では、何が異なるのか。
事務局	採点を行う操作は同じである。 大きく異なる点は、校務版は1人で採点が完結するのにに対し、入試版では、複数の担当者の採点結果を照合する仕組が搭載されている点である。
委員長	ウェブ出願システムによって、志願者、保護者、中学校側、高校側のそれぞれについて、利便性が大きく向上するものと考えられる。また、負担も大きく削減されることと思う。 トライアルサイトについては、ほぼ100%に近い受験見込みの中学生が練習したようである。その間、サポート窓口への問合せもあったようだが、大きな問題もなく進捗したということであった、 デジタル採点については、試行校から、業務負担の軽減につながるという報告があったということである。ミスが許されない業務ではあるが、チェック機能も整えているとのことであった。万全の体制で臨んでいただきたい。

○ 報告（３）（仮称）第4期県立高校将来構想答申中間案について

委員長	続いて、報告（３）「（仮称）第4期県立高校将来構想答申中間案について」、事務局から説明願う。
高校教育創造室 副参事兼総括室 長補佐	(高校教育創造室副参事兼総括室長補佐より説明)
委員長	ただいまの報告に関して質問等はあるか。

	次期将来構想答申の中間案では、本日の審議でも論点となった、全国募集選抜やアイデアルスクールについても触れられている。中間案を踏まえた入試制度の在り方について、事務局として考えがあれば提示いただきたい。
高校教育課長	<p>中間案には、高校の創造的再構築の実現という方向性が示されており、その実現に向けて、選抜方法等についての記載もある。こちらについて、しっかりと検討していく必要があると考えている。</p> <p>資料２、報告関係資料の７ページを御覧いただきたい。</p> <p>（１）の「入学者選抜の在り方」について、中間案では、第５章の３に「入学者選抜の在り方」として記載されている。</p> <p>この内容を踏まえ、「（２）今後検討を要する事項」に示したように、御覧のイ、ロ、ハについて検討が必要と考えている。次期将来構想のうち、入試の在り方に関わる論点については、本審議会に諮問して、委員の皆様には審議をお願いしたいと考えている。</p> <p>次期将来構想については、２月に将来構想審議会から答申いただいた後に、３月に決定する予定となっている。そこで、将来構想審議会から答申をいただいた後の今年度の２月中旬頃に、本審議会の第３回を開催して、皆様に審議をお願いしたい。</p> <p>年度末ということもあり、何かと御多忙のところではあると思うが、何卒よろしくをお願いしたい。</p>
委員長	ただいま事務局から、第３回を開催と審議をお願いしたいとの説明があったが、いかがか。
	(異議なし)
委員長	<p>それでは、将来構想審議会における将来構想の答申を踏まえて、第３回の審議会を開催し、審議をお願いする。</p> <p>事務局には、審議会の日程について調整をお願いする。</p> <p>報告については、以上で終了とする。</p>

○ 閉会

委員長	<p>その他として、委員のみなさまから何かあるか。</p> <p>事務局から何かあるか。</p> <p>それでは、以上で本日の審議はこれまでとし、進行を事務局にお返しする。</p>
事務局	<p>委員長、進行に感謝する。</p> <p>第３回を開催については、改めて日程を調整する。</p>
事務局	(閉会)